

令和7年度

学校関係者評価報告書
(中 間)

令和7年 9月24日

社会福祉法人 スマイリング・パーク

宮崎医療管理専門学校

はじめに

宮崎医療管理専門学校では、学則及び自己点検・評価規程に拠り、自己点検及び学校自己評価を実施しております。令和7年度の学校運営や教育活動等につきましても、年度初めに全教職員に提示した要項に基づき、年間を通して評価を行うこととしており、中間の結果を令和7年9月15日に報告書として取りまとめました。

以上をもとに、令和7年9月22日に第1回学校関係者評価委員会を開催しましたので、その評価結果について、ここに報告いたします。

なお、本報告書につきましては、学校自己評価報告書と同様、本校のホームページにて公開いたしますことを申し添えます。

令和7年 9月24日
学校法人 東洋学園
宮崎医療管理専門学校
学校長 川野 竜太郎

1. 宮崎医療管理専門学校 学校関係者評価委員会 委員一覧

関係機関・団体・企業	職名	氏名	備考
社会医療法人 慶明会	常務理事	牧野 剛	
社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会	事務局長	井畑 信二	
社会医療法人 善仁会 総合健診センター	統括	川端 利彦	委員長
社会福祉法人 慈愛会	介護支援 専門員	坂口 和幸	同窓会会長
社会福祉法人 恵浄福祉会	園長	川添 教道	

事務局

宮崎医療管理専門学校	常務理事	玉利 勇二	自己点検・評価 委員会委員長
〃	学 校 長	川野 竜太郎	〃
〃	教務部長	川野 哲朗	〃

2. 委員会次第等

1) 日 時 令和7年 9月22日 (月) 14:00~15:10

2) 場 所 宮崎医療管理専門学校 視聴覚室

3) 次 第

- (1) 開会、委員長挨拶
- (2) 事務局挨拶
- (3) 令和7年度自己点検・評価報告 (中間)
- (4) 各委員からの評価及び意見
- (5) まとめ

3. 内容

1) 事務局 挨拶

(1) 常務理事

校名等の変更含む改編事項及び学校運営方針、方向性等の説明（プレゼン）をふまえ、学生確保、経営改善に係る意見等いただきたい旨の言

(2) 学校長

設置者変更決定後の経緯、募集再開後の模索しながらの取組、時代や若者のニーズを取り入れ、地域との関係づくりのもと、教育の質の維持、向上に努めたいとの言

2) 川端委員長挨拶

事務局の説明をふまえ、本校の教育活動の継続、経営改善に資する意見等いただきたい旨の言

3) 自己点検・評価の取り組み状況、結果について

(1) 学校評価の内容、方法、根拠の説明 <事務局：教務部長>

各部署評価、教職員研修等、本年度の要項について説明

※特に法人研修について、キャリア及び専門分野等に応じ年間を通して計画実施していることを強調

※P：校務分掌概要 他 D：関係議事録等（実績）

(2) 令和7年度中間評価報告 <事務局：学校長>

※報告書各項目について丁寧に説明

<評価項目>

- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|--------|
| 1 教育理念・教育目標 | 2 学校運営 | 3 教育活動 | 4 学修成果 |
| 5 学生支援 | 6 教育環境 | 7 学生の受け入れ募集 | 8 財務 |
| 9 法令等の遵守 | 10 社会貢献・地域貢献 | | |

4) 各委員からの評価及び意見 ※質問、意見等順に記載、主に評価3以下の事案

(1) 井畑委員（項目7）

・学生在籍数等現状の確認

→ 事務局：令和6年度募集停止しており34名（2学年28名専攻科6名）在籍、募集再開後の状況も大変厳しい現状にある

(2) 川端委員（項目4、5）

・卒業生の状況把握、支援体制について、同窓会との連携を挙げているが、学生募集に係る協力を含め、同窓会の活動状況はどうか

→ 事務局：同窓会の活動そのものが活発であると言えず、つながりが薄弱になっている

DM、SNSによる現状及び協力に係る発信、役員会で体制の見直し、活動の活性化を図っていきたい

(3) 川端委員 (項目6)

- ・②インターンシップ体制に関連し、医療機関において、DX (クラウド) 化推進に伴い必要となる人材 (病院勤務SE等) を、「逆インターンシップ」として受け入れてはどうか
→ 事務局 : 社会人向け講座を、サテライトでの実施を含め検討したい

(4) 牧野委員 (項目2)

- ・医療事務 (メディカルマネジメント) コースの募集停止に伴い、本評価活動の継続 (意義) はどうなるか
→ 事務局 : 中間の評価をふまえ、年間を通し相対的に評価し、次年度の活動及び改編等に活かしたい

(5) 牧野委員 (項目3)

- ・関連事業所 (有料老人ホーム) が人材不足の影響で閉所するが、スマート介護士やカリキュラムの見直しは、人材確保 (学生確保) につながるか
→ 事務局 : 冒頭説明した改編事項を含め、教育課程編成委員会で各科の報告をふまえ検討したい

※項目1、8、9、10について直接的な意見等なかった

※年度途中での改編、転換等についての理解が不十分であった感がある

5) まとめ

川端委員長

本委員会での評価や意見、第2部 (教育課程編成委員会) をふまえ、学校運営や教育活動の改善、継続に活かしていただきたい。

以 上